

第 1 回避難対策小会議での顧問意見
(第 2 回小会議項目反映分)

顧問	第 1 回小会議顧問意見	第 2 回小会議項目
片桐顧問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複合災害を想定した場合、より複雑な対応が求められる中で、避難のオペレーションなど、住民に近い部分の対応は県の災害対策本部が中心にならないといけない。オフサイトセンターに要員を派遣することとなっているが、少ない要員を割いてそれぞれの場所で同じような検討をする必要があるのか。県の災害対策本部にウェットを置いた対応の流れを作るべきであり、その中においてオフサイトセンターでやるべきことは何なのか、役割の整理が必要。 	<p><4> オフサイトセンターと災害対策本部の機能分担は明確に整理されているのか</p>
関谷顧問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退域時検査とか様々なところで資機材の問題は出てくると思う。今の島根県の状況がどういう状況なのかと、それでどれぐらいのことが可能か確認したい。 	<p><6> 原子力災害時の資機材はどのように整備を行っているか</p>
野口顧問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に防災の仕組みというのは、あらゆることに一遍に使える計画が立てられないので、まず標準パターンをつくって、その標準パターンに対する対応計画を作って、その実効性を高めていくという第 1 フェーズがあり、第 2 フェーズは、例えば、問題になることが起こるとすると地震以外のことが多いかもしれないし、訓練も計画も地震中心にやっけていて良いのかという問題もある。 	<p><2> 避難計画の実効性はどのように確認するのか</p> <hr/> <p><3> 避難計画の実効性は数字で表すべきではないか</p>